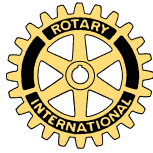


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2025～2026年度 国際ロータリー フランチャスコ・アレツォ 会長テーマ

UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう

 創立 1954年 3月 8日
 承認 1954年 3月 30日

 例会日時 毎週月曜日
 12:30～13:30
 例会場 刈谷市新栄町3の26
 刈谷商工会議所内
 事務所 TEL <0566>22-2111
 FAX <0566>25-2111
 メール kariyarc@katch.ne.jp
 ホームページ http://www.kariya-rotary.com
 会長 近 藤 純 子
 幹事 加 藤 大 志 朗
 会報委員長 杉 浦 守 康

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3292回例会プログラム

[当年度=12回目；当月=4週目]

2025年（令和7年）10月27日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食 事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点 鐘……〈副会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 副会長挨拶並びに副会長報告

7. 幹事報告

8. 出席報告

※第1四半期皆出席の発表（出席委員会）

9. 委員会報告

10. ニコニコボックス報告

11. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(11/3) ……休 会（法定休日）

(11/10) ……

卓話「Bリーグの今後（B革新）と
新アリーナについて」

講師 三河安城交流拠点建設募金団体

代表理事 白井 博 様

（紹介者 宮川 清 会員）

※健康診断（職業奉仕委員会）

2. クラブフォーラム……………〈米山記念奨学委員会〉

13:00 卓話 「AIを活用した医療画像診断について
～過去・現在・未来～」

講師 米山奨学生

グエン コン カン さん

（紹介者 久米 博明 会員）

12. 謝 辞

13. 点 鐘……〈副会長〉

14. 閉会宣言

13:30 15. 散 会

出席

 会員総数 93名 出席免除 22名
 出席義務者+免除者の内例会出席者 84名
 欠 席 8名 出席率 90.48%
 前々回（10/6）の修正出席率 100%

副会長報告

- 1) 10月21日(火) 刈谷市国際交流協会役員・幹事会に、会長の代わりに国際奉仕委員会神谷強委員長に出席して頂きました。
- 2) 10月26日(日) 近藤会長は、刈谷市民交流センターにて開催された、多文化交流フェスタに参加し、国際奉仕事業として民族衣装によるファッションショー参加者に参加賞を授与させて頂きました。近藤会長も着物で参加し、大変よろこんで頂きました。

国際奉仕事業



多文化交流フェスタ in 刈谷



米山奨学生 グエン コン カン さん

幹 事 報 告

1) 本日、関係の会員の方に、地区大会プログラム冊子・名札を配布させて頂きました。名札の中に、昼食及び美味い広場引換券を入れておきます。冊子・名札をお持ち下さい。

副会長あいさつ

今村 順



副会長の今村順です。本日は近藤会長がお休みですので、会長に代わりご挨拶をさせて頂きます。まずは簡単に自己紹介をさせて頂きます。昭和30年生まれ、出身は幡豆郡吉良町、現在の西尾市吉良町です。今年70才になりました。

勤務先は、刈谷市の北部に工場がある日高工業株式会社で、金属熱処理をしています。1993年から25年間社長を務め、現在は会長です。公職としては2005年から現在まで、刈谷市防火危険物安全協会の会長を20年間務めており、またその上部団体である愛知県危険物安全協会連合会の会長、ならびに東海北陸ブロックの代表として全国危険物安全協会の理事も6年間務めました。

危険物というのは主に可燃性の液体、つまり油やアルコールなどのことで、業務に使用したり貯蔵したりする企業が安全に操業できるように厳しく取り扱い方法が定められています。その法規制や事故事例などを、危険物を利用している企業に周知し、安全を守って頂くための啓蒙活動をしています。

会社の仕事は、自動車部品の金属熱処理加工を行っており、刈谷市・豊明市にある4つの工場で事業を行っています。この熱処理の業界団体である中部金属熱処理協同組合で、1993年から（30代の後半から）現在まで理事を務めており、2007年から6年間は理事長を務めました。また同時に、この期間中はその上部団体である、日本金属熱処理工業会の副会長も務めており、業界団体の活動として経済産業省の主催する海外の素形材産業調査ミッションや、自動車工業会・自動車部品工業会と我々、素形材産業団体との懇談会などにも業界を代表して出席していました。

素形材産業調査ミッションというのは、主に東南アジアや南米などの発展途上国の素形材産業、例えば金属プレス、鍛造、鋳造、熱処理などの産業の市場の大きさや、技術力や国の支援制度などを調べるために、日本から進出している日系企業と現地資本の有力企業の工場を訪問し、取材や意見交換をすることで、その国の産業の実力と将来性についての報告書を作成する事業です。経済産業省素形材産業室の主催により、1週間程度の日程で、平均して年に2回程度行われていました。

私は2007年ごろからマレーシア、ベトナム、タイ、インドネシア、ブラジルなどの産業調査ミッションに参加しました。観光旅行ではないので、連日、現地の企業を訪問して、経済産業省に提出するレポートを作成しなければいけません。訪問する企業の業種に合わせて、取材をする担当を決めます。自分が担当の時、訪問先企業の回答を聞きながら、次にどのように質問をしようかと考えていると、前の質問の回答を聞き洩らしてしまうことがあります。この調査ミッションに何回か参加していると、他の業種の参加者とも顔なじみになり、お互いが協力して情報を交換できるようになります。そんな仲間意識ができたメンバーとは、現在でもOB会と称して、ときどき会社見学や飲み会などを行っています。

私たちが作成したレポートは、経済産業省によって分厚い報告書にまとめられ、これから海外に進出しようと検討している企業が参考にできるように、素形材センターが製本し、公開されています。

クラブフォーラム

卓話 「AIを活用した医療画像診断について ～過去・現在・未来～」

講師 米山奨学生
グエン コン カン さん

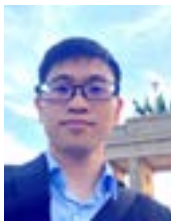


AIを活用した医療画像診断について

～過去・現在・未来～

グエン コン カン
2025/10/27

自己紹介



- ・名前：ゲンコンカン
- ・年齢：28歳
- ・学歴：
 - ・ハノイ工科大学（機械）
 - ・名古屋工業大学（機械）
 - ・大同大学（情報）
 - ・名古屋大学（情報）
- ・趣味：
 - ・PC（シミュレーション、ソフトウェア）
 - ・読書（Michio Kaku, Stephen Hawking）
 - ・お酒

AIの精度と課題



- ・精度向上の要因
 - ・医療画像のビッグデータ活用
 - ・AIのアーキテクチャの進化
- ・現在の精度
 - ・一部のタスク、特定のシーンでは高精度
 - ・分類・セグメンテーションに得意
- ・精度に関する主な課題
 - ・臨床的な評価は不十分
 - ・説明可能性：なぜその診断結果になったか
 - ・特定の人種・性別・年齢に偏った診断

医療画像診断とは？



慎重に画像解析する必要

- ・負担が大きい
- ・見落としのリスク

医療現場でのAI活用の現状



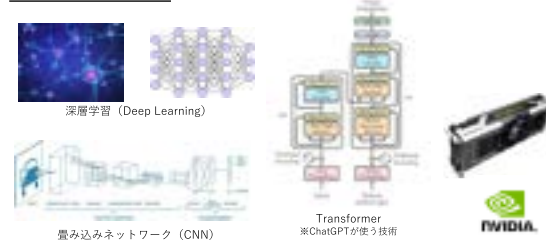
AIと医療画像診断の歴史



これからのAI



現在のAI技術



今後の課題

- ・法整備と倫理的枠組み
 - ・AIによる診断の責任は誰が負うのか？
 - ・患者のプライバシー保護とデータの取り扱い
 - ・医療AIに関するガイドラインの整備が急務
- ・医師教育との連携
 - ・AIを正しく理解し、活用できる医師の育成
 - ・医学教育にAIリテラシーを組み込む必要性
 - ・AIと人間の「協働能力」を高める教育
- ・AIと人間の役割分担
 - ・AIは「診断支援」か「診断主体」か？
 - ・医師の直感や経験とAIのデータ解析の融合
 - ・最終判断は人間が行うべきか、AIが補完すべきか



最先端の取り組み

